

いけにえの淵

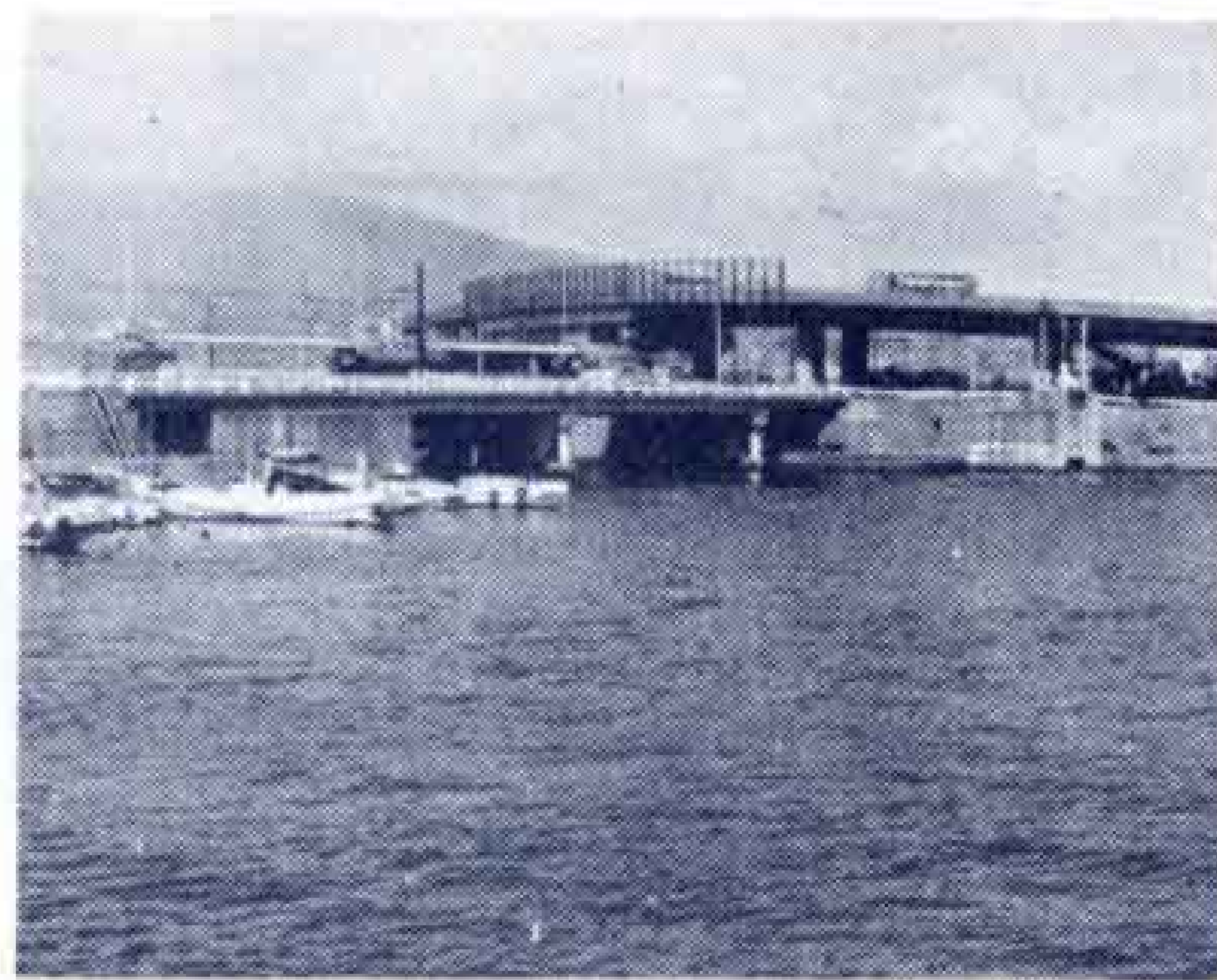
①

今から400年くらい前、鈴川の6つめがね橋ふきん<写真>にあったお話です。大昔から潤井川の川尻は沼川や和田川が落ち込んで、さんまたと呼ばれた青黒く深い淵を作っていました。

そこに一匹の大蛇(だいじゃ)が住んでいました。この大蛇は、大水を出したり暴風をおこして田畑を荒し、お百姓さん達を大変苦しめてい

ました。お百姓さん達は田畑を荒されないよう、毎年6月28日になると15~16才の少女をいけにえとして大蛇にやることにしていました。

今年も6月になって、みんな庄屋さんの家に集まり、だれをいけにえに選ぶか相談しましたが、いけにえになる少女はなかなか決まりません。いけにえをやらなかったら大蛇は大



あばれにあばれて、田も畑もひと押しに流してしまおうでしょう。そしたらみんなうえ死にしてしまいます。

いろいろ考えた末、みんなはお金を出しあって、いけにえになってくれる少女に小判千両を渡すという大きな立札を東海道の吉原宿に立てました。

立札のうわさはだんだん広まって尾張の熱田にも伝わりました。熱田にうねめというやさしい少女がいました。うねめのお父さんもお母さんも長いこと病気で寝ていました。うねめの家は貧乏でしたから、もう薬やお米を買うお金もありません。「千両あれば…私がいけにえになろう」うねめはそう決心しました。

(つづく)



中体連水泳大会で11の大会新が

中体連水泳大会を7月20日、吉原1中プールで開きました。市内の8中学校から真黒に日焼けした100人が参加し、21種目に水しぶきをあげました。

市内の水泳レベルも2~3年前からあがり、大会を開くごとに好記録が続出、この日も11の大会新記録が生

れました。この結果、男子では元吉原中、女子は吉原1中が総合優勝しました。

なお、今大会で上位6位までの入賞者は、8月2日から元吉原中で開かれた県東部水泳大会に富士市代表として出場しました。



伝法地区子ども会球技大会
男子はソフトボール
女子はキックベースボール

